

【平成 26 年度・前期学期・マクロ経済学 I・課題 2】

☆ 平成 26 年 6 月 3 日講義開始時締切

【問 1】 次の言葉や概念を説明しなさい。

- | | |
|------------|-------------|
| (ア) 労働力人口 | (オ) 自発的失業 |
| (イ) 常用労働者数 | (カ) 潜在的失業者 |
| (ウ) 完全失業者 | (キ) 潜在生産高 |
| (エ) 失業の種類 | (ク) オークンの法則 |

【問 2】 ある経済において cpi を計算する場合に、卵、パン、キャベツ、ハム、牛乳の 5 つの財のみを財のバスケットの対象として観測している。これらについて、下の表のように各年での価格と消費量が観測されている場合、①～⑥について答えなさい。

- ① 「財のバスケット」とは何か説明しなさい。
- ② 2010 年を基準とした 2013 年の CPI を求めなさい。
- ③ 2012 年と 2013 年の間の短期の価格変動率を求めなさい。
- ④ 2010 年と 2013 年の間で経済はインフレ状態かデフレ状態か？
- ⑤ 2012 年の名目 GDP が 480 兆円で 2013 年については 510 兆円であったとすると、この経済の実質 GDP はそれぞれの年でいくらになるか、計算した cpi を用いて計算しなさい。
- ⑥ この経済の実質 GDP の成長率を 2012 年と 2013 年の間で計算しなさい。

	2010 年の 価格	2010 年の 消費量	2012 年の 価格	2012 年の 消費量	2013 年の 価格	2013 年の 消費量
卵	200	80	210	85	220	80
パン	150	20	160	19	180	15
キャベツ	180	10	150	15	150	120
ハム	120	50	110	60	100	75
牛乳	170	40	170	43	150	55

【問 3】 ある経済が閉鎖経済で、民間部門によってのみ構成されている。また、次のよう、この経済の財の市場を表す式が与えられている。これらについて後の問に答えなさい。必要なグラフは必ず描くこと。(グラフは配点の対象です。)

$$\text{消費関数} : C = 25 + 0.7Y$$

$$\text{独立投資} : I = 35$$

但し、C は消費支出、I は投資支出、Y は国民所得であるとする。

- (1) 基礎消費はいくらになるか、また限界消費性向 (MPC) はいくつであるか特定しなさい。
- (2) この経済の総需要を表わしなさい。
- (3) この経済の均衡条件を数式であらわし、均衡国民所得を求めなさい。
- (4) 今、この経済の潜在生産高が 250 であるとする。この時、この経済にはインフレギャップ、デフレギャップのどちらが存在するか。またその大きさはいくらになるか答えなさい。